

さくら



令和6年8月26日(月)

実りの2学期にしよう



夏休みが終わり、2学期が始まりました。夏休み中、生活リズムが崩れてしまった人もいることでしょう。日々の生活を充実させるためには、良い基本的生活習慣を実践していくことが大切です。睡眠や朝食の習慣を点検し、乱れがある人は、正しい習慣を取り戻しましょう。

2学期は合唱コンクールや文化発表会、体育大会といった大きな行事があります。これらの行事は、仲間と力を合わせて行うものです。それぞれの行事を通して、仲間との絆を深め、より良い成果を残していきましょう。また3年生については、進路選択により真剣に向き合う学期となります。全ての学年に言えることですが、日々の学校生活を大切にすることが、良い結果を出すことにつながります。

さて、2学期の始まりにあたり、2つのことを伝えます。ぜひとも実践してください。

1つ目は「相手の本心に寄り添う」ということです。以前、知人が足の骨折で入院していました。交通事故でした。退院後の彼を見舞ったのですが、とても明るく元気に出迎えてくれました。

「ほんまに命落とさんでよかったな。連絡聞いた時はびっくりしたわ。」

「心配かけてすまん。早く退院できだし、リハビリも順調。すぐに良くなるから心配いらんで。」

このようなやり取りがありました。後日、奥様から連絡があり、リハビリが計画通りいっていないこと、後遺症が残るかもしれないこと、趣味のオートバイにはもう乗れないだろうことを聞かされました。本人は、かなり落胆しているのに、見舞客を心配させてはいけないと気丈に振る舞っていたのです。

私たちは人と対応する時、相手の表面的な部分しか見ていないことがあります。大切なのは、想像力を働かせ、相手の本心に思いを寄せることがないでしょうか。

2つ目は「目標達成」についてです。目標達成の肝は何でしょうか。まず「目標を目標で終わらせない」ことです。つまり、達成に向けて行動を起こすことが大切です。次に「正しい努力をする」ことです。努力の方法が間違っていれば、良い結果は得られません。正しい努力の仕方を、人や書物などから学ぶことが大切です。最後に「できない理由を考えない」ことです。成果をあげている人の共通点は、困難に直面しても「それを突破する工夫」を考えます。「できない」と思った時点で目標達成への道は途絶えてしまいます。

以上、2つのことを伝えました。2学期が実りの学期となるよう、仲間と支え合いながら、頑張っていきましょう。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

